



# 8050 問題 を考えるセミナー

「8050 問題」という言葉をご存知でしょうか。「80」代の親が「50」代の子どもを支えるという問題です。

背景にあるのは子どもの「ひきこもり」「不就労」などの長期化です。ひきこもりという言葉が社会にではじめるようになった 1980 年代～90 年代は若者の問題とされていましたが、約 30 年が経ち、当時の若者が 40 代から 50 代、その親が 70 代から 80 代となり、長期高齢化。こうした親子が社会的に孤立し、生活が立ち行かなくなる深刻なケースが目立ち始めています。

8050 の状態になる前に、7040、6030 での備えしていく事ができないか？まずはこの問題の背景を知る事、具体的な支援の方法を見つける事、そして支援者とつながる事、当事者の家族がその入り口にたてるように、セミナーとサロンを開催します。

対象＞ ひきこもり・不就労などの当事者家族／支援に関わる方 他

9 月 26 日 (土)  
13 : 30 ~

オンライン開催

## 8050 問題の背景にある社会課題を考える ～若者のアンダークラス化を防ぐ為に～

講師：放送大学名誉教授 宮本 みち子 氏

家族社会学、若者の社会学、生活保障論。若者支援、生活困窮者支援などに長く研究調査されてきた宮本先生から 8050 問題の背景となる日本の社会と若者の置かれてきた環境の変化についてお話いただきます。

10 月 24 日 (土)  
13 : 30 ~

## 「8050 問題と生活困窮者自立支援制度」

講師：よこはまユース事務局長 元横浜市健康福祉局 巻口 徹氏

公的な制度の最後のセーフティーネットとして生活保護制度があり、制度の狭間を埋める制度として生活困窮者自立支援制度があります。「ひきこもり」相談、制度の狭間にある「8050」問題、横浜市での新たな取組みを模索されています。公的な支援制度と具体的な取り組みのお話をさせていただきます。

場所：モンビル横浜根岸 6 階 (Live Box M6) (会場は参加人数を制限しています。要予約 来所限定 30 名)

住所：〒235-0005 横浜市磯子区東町 15-32-6F JR 根岸線 根岸駅下車、徒歩 1 分

オンライン同時開催：(限定開催 限定 30 名)

申込み方法：詳しくは裏面をご覧ください。

主催：一般財団法人若者自立就労支援協会 問い合わせ：045-752-5066 (K2 グループ事務局)

この事業は令和 2 年度 独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成事業です。



# 8050問題を考えるセミナー

【実践編】

「8050問題」という言葉をご存知でしょうか。「80」代の親が「50」代の子どもの生活を支えるという問題です。

背景にあるのは子どもの「ひきこもり」「不就労」などの長期化です。ひきこもりという言葉が社会にではじめるようになった1980年代～90年代は若者の問題とされていましたが、約30年が経ち、当時の若者が40代から50代、その親が70代から80代となり、長期高齢化。こうした親子が社会的に孤立し、生活が立ち行かなくなる深刻なケースが目立ち始めています。

8050の状態になる前に、7040、6030での備えしていく事ができないか？

まずはこの問題の背景を知る事、具体的な支援の方法を見つける事、そして支援者とつながる事、当事者の家族がその入り口にたてるように、セミナーとサロンを開催します。

対象＞ ひきこもり・不就労などの当事者家族／支援に関わる方 他

第一回【終了】 9月26日(土) 8050問題の背景にある社会課題を考える～若者のアンダークラス化を防ぐ為に～ 講師：放送大学名誉教授 宮本 みち子氏

第二回【終了】 10月24日(土) 8050問題と生活困窮者自立支援制度 講師：よこはまユース事務局長 元横浜市健康福祉局 巻口 徹氏

【第三回】

11月28日(土)

13:30～

オンライン開催

## 「介護現場から見る8050問題」

講師：和みの園 施設長 木内 菜穂子氏

戸塚区にある特別養護老人ホームの施設長である木内さんは、施設を地域に開きお年寄りから赤ちゃんまですべての年代が集える場づくりをしておられます。

地域と連携した介護の実践の中で、介護される方の家族の問題に直面されています。

介護現場から見える8050問題を実際の事例を通してお話頂くと共に、生きづらさを抱える若者と親の介護について考えます。

【第四回】

12月5日(土)

13:30～

## 「8050問題とお金について考える」

(生きづらさを抱える若者と年金について)

講師：社会保険労務士事務所 AI (アイ) コンサルティング所長 相川 裕里子氏

障害・老齢年金などの相談・請求代理で3000件超の実績を持つ講師は、引きこもり状態の方やご家族からの相談を受ける事が多くあるそうです。

生きづらさを持つ方のセーフティネットとしての「障害年金」について、正しく知り備える方法についての知識を、実際の事例を交えて学びたいと思います。

場所：モンビル横浜根岸 6階 (Live Box M6) (会場は参加人数を制限しています。要予約 来所限定30名)

住所：〒235-0005 横浜市磯子区東町15-32-6F JR根岸線 根岸駅下車、徒歩1分

オンライン同時開催：(限定開催 限定30名)

申込み方法：[mami@k2-inter.com](mailto:mami@k2-inter.com)

主催：一般財団若者自立就労支援協会 問い合わせ：裏面のお問合せ番号へ

この事業はWAM独立行政法人福祉医療機構助成金で実施しています。





# 8050問題を考えるセミナー

【実践編】

「8050問題」という言葉をご存知でしょうか。「80」代の親が「50」代の子どもを支えるという問題です。

背景にあるのは子どもの「ひきこもり」「不就労」などの長期化です。

ひきこもりという言葉が社会にではじめるようになった1980年代～90年代は若者の問題とされていましたが、約30年経ち、当時の若者が40代から50代、その親が70代から80代となり、長期高齢化。こうした親子が社会的に孤立し、生活が立ち行かなくなる深刻なケースが目立ち始めています。

8050の状態になる前に、7040、6030での備えしていく事ができないか？

まずはこの問題の背景を知る事、具体的な支援の方法を見つける事、そして支援者につながる事、当事者の家族がその入り口にたてるように、セミナーとサロンを開催します。

対象＞ ひきこもり・不就労などの当事者家族／支援に関わる方 他

【第五回】1月4日(月) 13:00～16:00

『8050問題を考えるワークショップ』

講師 ファシリテーター：NPO法人シャーロックホームズ宮島真希子

これまでの4回のセミナーを振り返り、支援者がネットワークをつくりどのようなサポートができるかを考えるワークショップ

対象 これまでのセミナーやピアサポートカフェに参加した事のある支援者が対象です。0

場所：モンビル横浜根岸6階(Live Box M6) (会場は参加人数を制限しています。要予約 来所限定30名)

住所：〒235-0005 横浜市磯子区東町15-32-6F JR根岸線 根岸駅下車、徒歩1分

オンライン同時開催：(限定開催 限定30名)

申込み方法：✉ [info@k2-inter.com](mailto:info@k2-inter.com)

オンライン開催

主催：一般財団法人若者自立就労支援協会 問い合わせ：裏面のお問合せ番号へ

この事業は令和2年度 独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成事業です。

